



Okamoto

株式会社岡本工作機械製作所
(証券コード：6125)

**2023年3月期第2四半期
決算説明会資料**

2022年11月29日

アジェンダ

1. 2023年3月期第2四半期 決算概況
2. 新中計“創”lution 2025 GRIT&Adjust 進捗状況
3. 2023年3月期 決算予想
4. サステナビリティ・SDGsへの取り組み

Appendix

1. 2023年3月期第2四半期 決算概況

決算サマリ

業績

- ✓ 売上高223億82百万円、営業利益26億62百万円
- ✓ 引き続き業績は好調に推移

受注実績

- ✓ 半導体関連装置は前期大口受注もあり前期比減も、中長期的な設備投資意欲は引き続き旺盛
- ✓ 工作機械は半導体業界、金型業界向けはじめ、政策の挺入れや設備投資意欲回復の影響を受け、好調に推移

市場概況

■ 国内市場

- 工作機械は半導体業界や設備補助金など経済政策の効果で需要堅調
- 工作機械業界、金型業界向けの大型平面研削盤や半導体業界向けのロータリー研削盤を中心に好調に推移
- 半導体は後半一部需要減速の動きが見られるものの、半導体デバイスの需要は底堅く上半期については好調に推移

■ 海外市場

- 北米市場は、金型業界、セラミック業界向けの需要が引き続き増加
- 欧州は地政学リスクの影響で先行き不透明感あるも半導体関連、EV車関連での需要が増加。半導体関連でウェーハ生産用のファイナルポリッシャーなど 販売
- アジア市場では中国の設備投資引き続き活発。EV車関連で大型平面研削盤の需要が高まる。東アジアでは複数の取引先から半導体製造装置の受注を獲得、液晶用ガラスマスク加工装置など販売。東南アジアでも行動制限の撤廃から受注、売上とも前年同期を上回る

業績ハイライト

(単位：百万円)

	2021年9月	2022年9月	
	金額	金額	前期比増減率
売上高	17,190	22,382	+30.2%
売上総利益	5,144	7,078	+37.6%
販売費及び一般管理費	3,660	4,415	+20.6%
営業利益	1,483	2,662	+79.5%
経常利益	1,596	2,701	+69.2%
当期純利益	1,178	1,878	+59.3%

※小数点第2位を四捨五入

為替レート

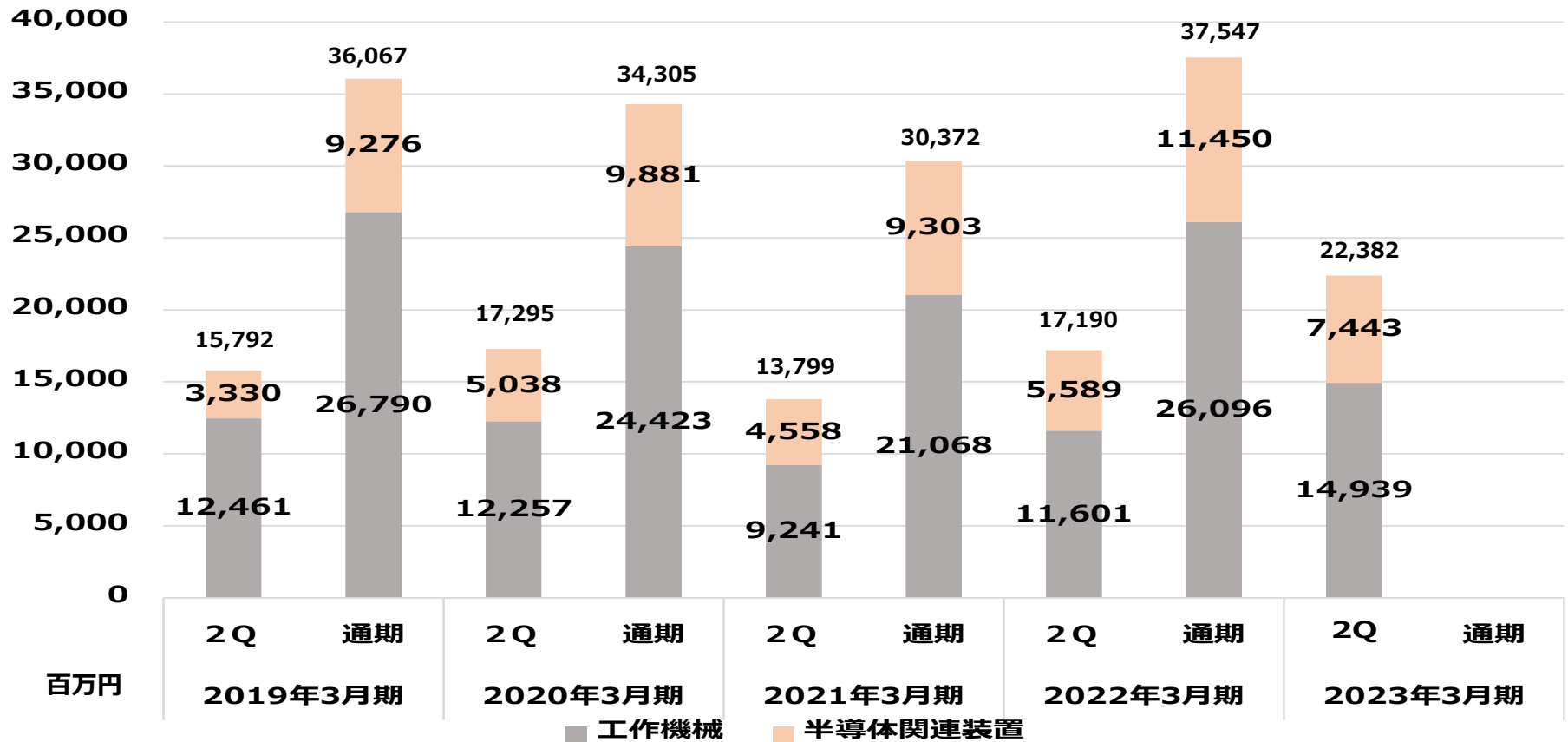
	2021年9月	2022年9月
米ドル	110.10	135.30
シンガポールドル	82.01	97.12
ユーロ	131.16	139.14
タイバーツ	3.41	3.78
人民元	17.07	19.91

※期中の平均レートで記載しております。

- 売上高は223億82百万円（前期は171億90百万円）、営業利益は26億62百万円（前期は14億83百万円）
- 工作機械は好調な半導体業界や設備補助金などの経済政策を背景に受注・売上とも前年を上回る
- 半導体は豊富な受注残高により海外売上が増加し前年同期を上回る

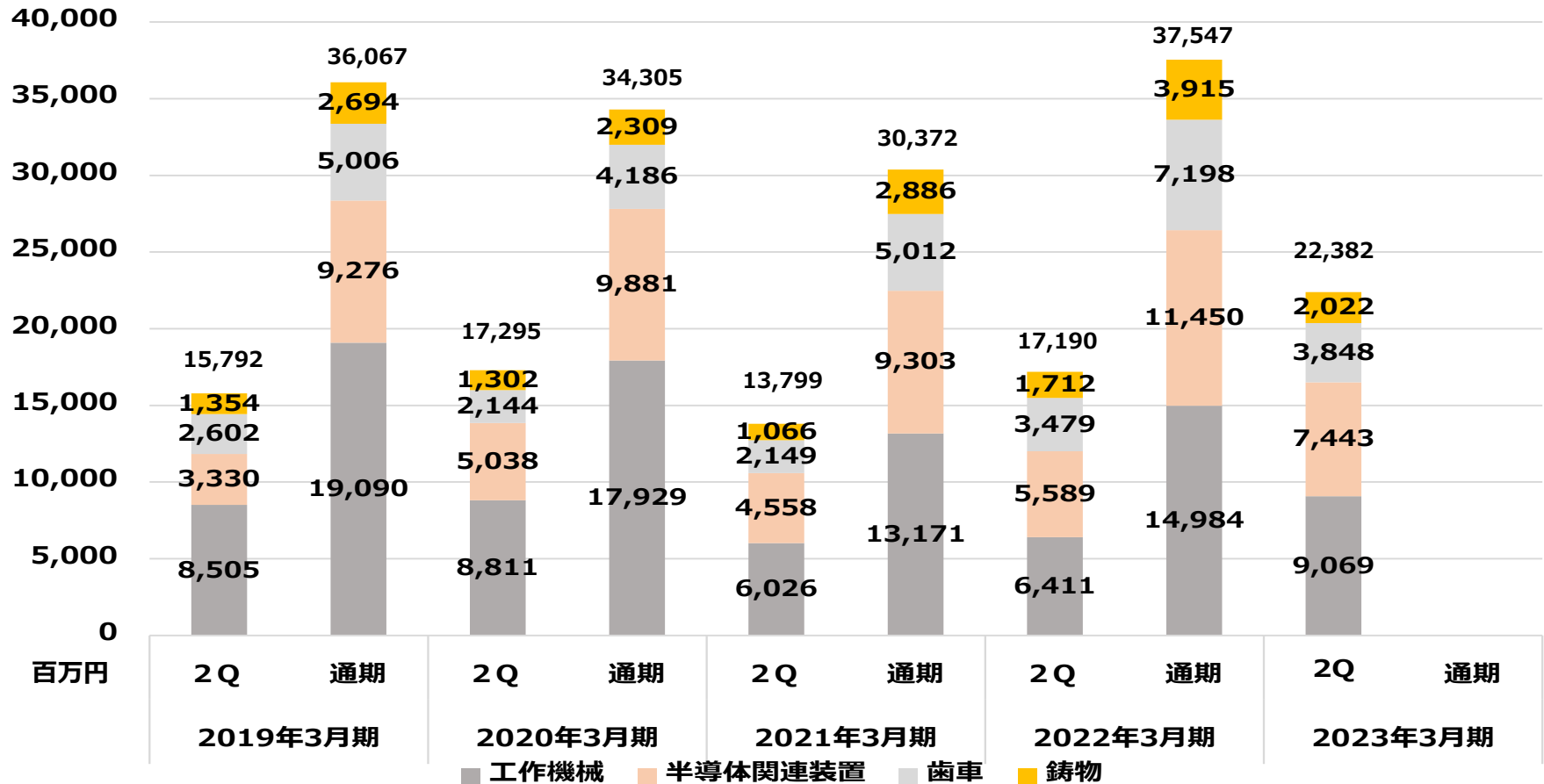
セグメント別売上高推移①

設備投資需要に支えられ、上半期は堅調に推移



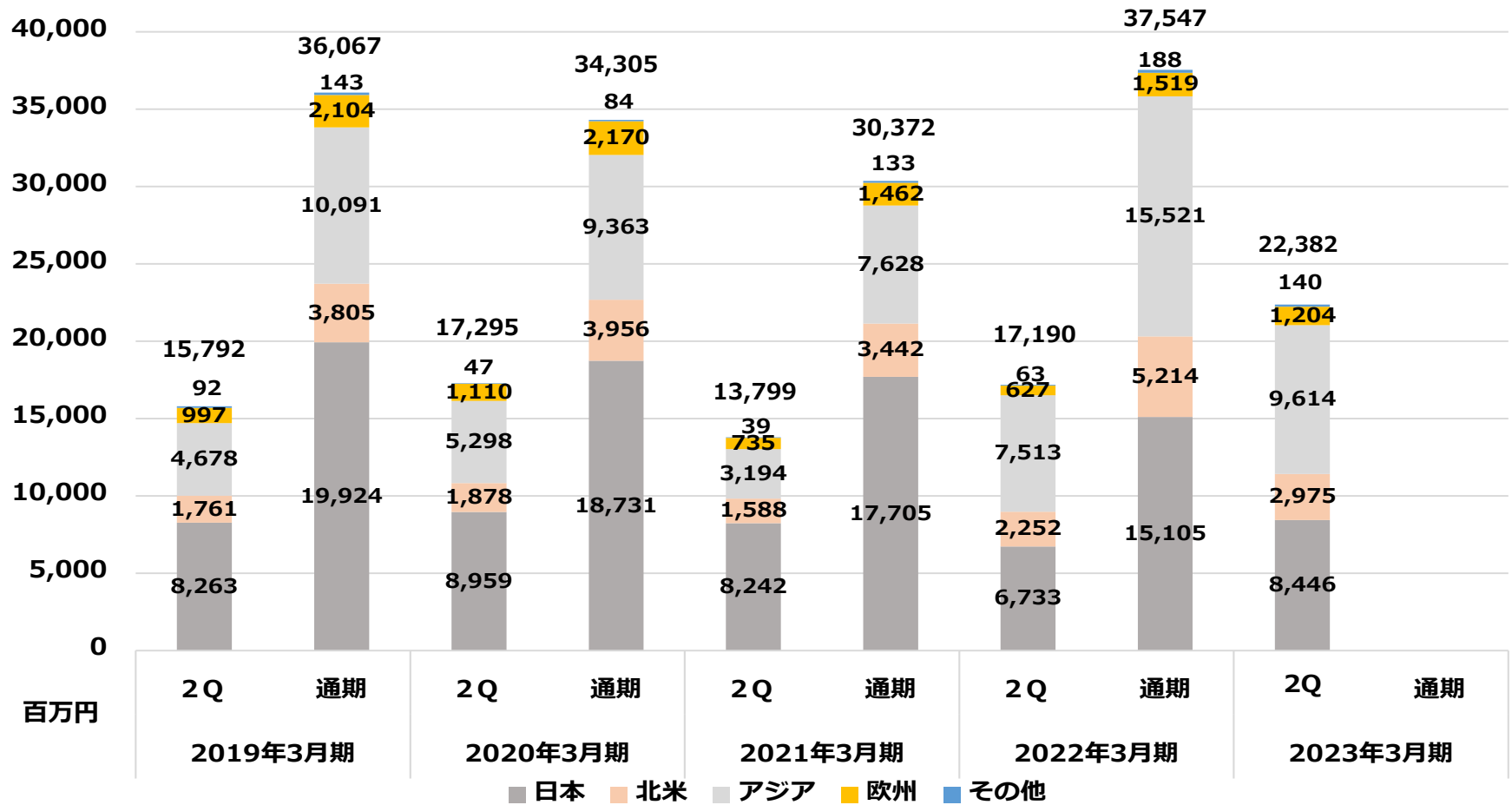
セグメント別売上高推移②

引き続き売上は半導体が牽引、工作機械も回復基調
ロボット需要の増加に伴い歯車も堅調



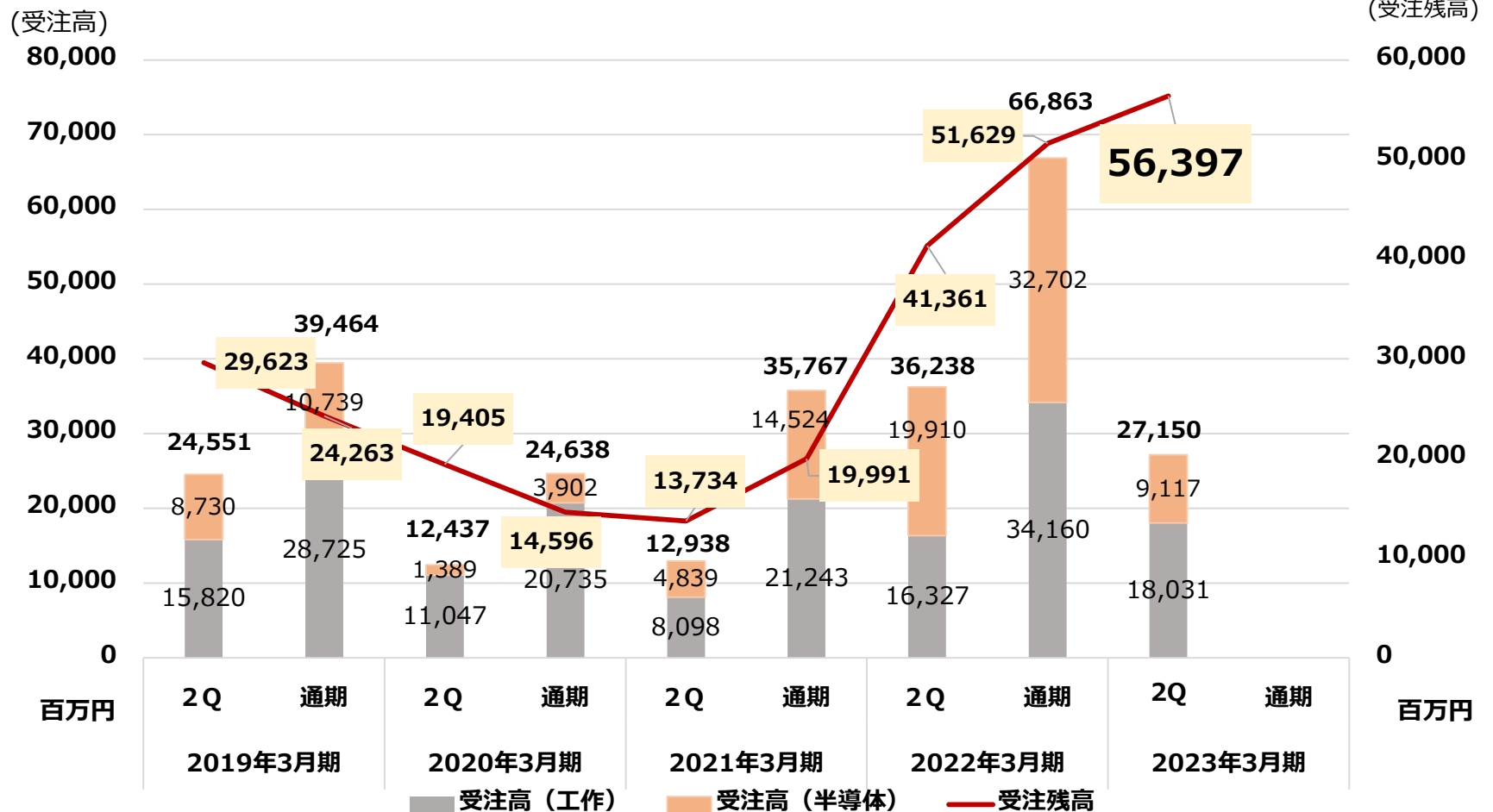
エリア別売上高推移

アジア堅調、欧州、北米、日本も回復基調



受注・受注残高

メモリの在庫調整などから足元で半導体受注が締まるも、工作機械が補い引き続き受注堅調
受注残高は563億97百万円と過去最高を更新



比較貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年3月		2022年9月	
	金額	金額	金額	対前期末比
流動資産	35,343	38,584		+3,240
現金及び預金	7,333	7,853		+519
受取手形及び売掛金	8,114	7,482		▲631
棚卸資産その他	19,894	23,247		+3,352
有形・無形固定資産	10,337	11,444		+1,106
投資等	1,826	1,857		+30
資産合計	47,507	51,885		+4,377

(単位：百万円)

	2022年3月		2022年9月	
	金額	金額	金額	対前期末比
負債合計	27,176	28,934		+1,757
流動負債	24,493	26,869		+2,376
固定負債	2,683	2,065		▲618
純資産合計	20,331	22,951		+2,619
負債資本合計	47,507	51,885		+4,377

有形固定資産増加のうち7億60百万円は岡本工機の新工場

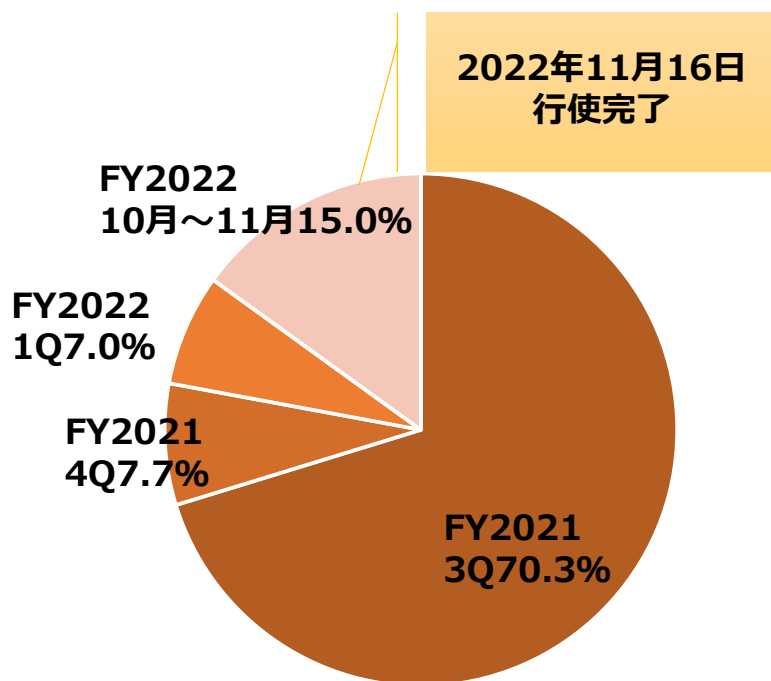
比較キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2022年3月	2022年9月	
	金額	金額	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,668	2,378	▲9,289
税引前当期純利益	4,203	2,701	▲1,502
減価償却費	1,418	744	▲674
売上債権の増減（▲は増加）	474	884	+410
棚卸資産の増減（▲は増加）	▲3,334	▲2,245	+1,089
仕入債務の増減（▲は減少）	2,356	428	▲1,927
その他	6,551	▲135	▲6,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,547	▲1,312	+234
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,150	107	+3,258
換算差額	268	324	+55
現金・現金同等物残高	12,016	13,514	+1,497

第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権の行使状況

10月より一気に行使進み11月16日行使完了
最終調達額は31億783万6,520円




【資金使途】

1. 生産能力向上に向けた設備投資及び中国子会社への投資資金
2. 本社工場における自動倉庫の建設

調達予定先	大和証券株式会社
行使期間	2021年9月28日～2024年9月27日
新株予約権個数	7000個
目的株式数	700,000株
当初行使価格	6,275円
下限行使価格	4,092円
想定調達額	4,429百万円 (6,275円想定)

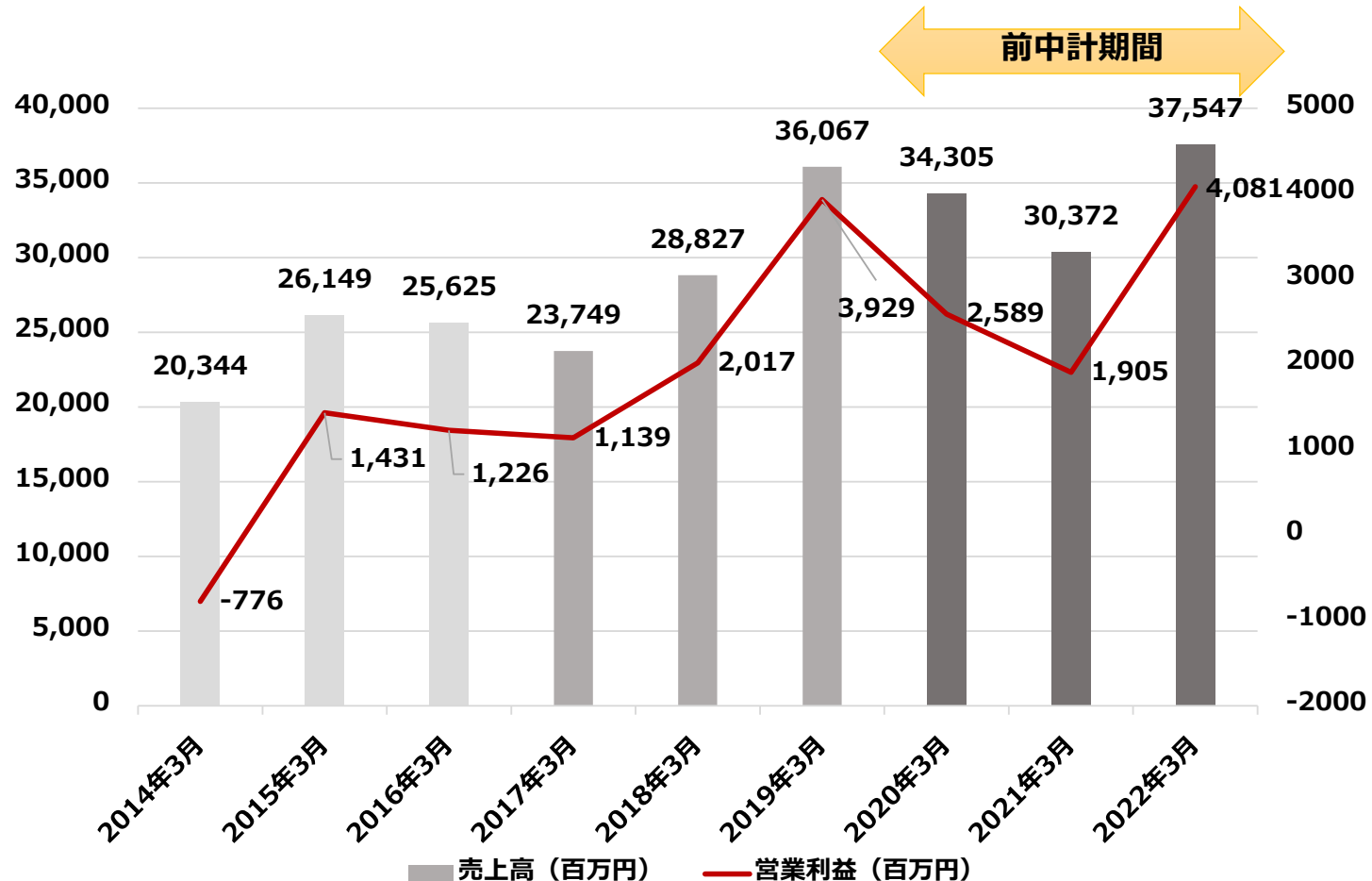
	行使Q	行使個数 (個)	交付株式数 (株)
FY2021	3 Q (10月～12月)	4,918	491,800
FY2021	4 Q (1月～3月)	536	53,600
FY2022	1 Q (4月～6月)	493	49,300
FY2022	2 Q (7月～9月)	0	0
FY2022	3 Q (10月～11月)	1,053	105,300
	計	7,000	700,000




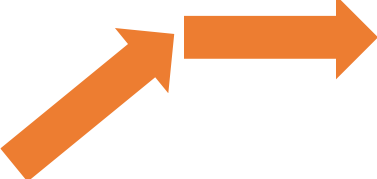


2. 新中計“創”lution 2025 GRIT&Adjust 進捗状況

長期業績推移 売上高・営業利益推移

前中計では「安定した収益を確保できる企業」を目指す
 コロナ禍の中、中計の前提条件は激変したが、工作機械の苦戦を半導体が補い業績はV字回復を実現



新中計期間における市場の要請

	トレンド	概要
工作機械	グローバル工作機械市場 	<ul style="list-style-type: none"> ● 顧客の省人化に寄与するサービス要求（自動化対応、IoTコネクテッド、高精度かつ容易な研削） ● 拡大する中国マーケットへの対応 ⇒ 中国工場の拡充 ● 半導体やEVシフトに関連する業界での堅調な機械需要 ● 市場変動（市況悪化リスク）への対応
半導体	半導体ポリッシャー市場 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5G社会の到来、IoTの普及等による長期的な半導体需要拡大トレンド ● 市場に存在する半導体製造設備の高稼働によるサービス需要の継続発生 ● 半導体市場での競合環境激化（次世代開発の背景） ● 中国市場での需要減少リスク
精密部品・素材 (歯車)	グローバルロボット市場 	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバルでの省人化ニーズ増加に伴うロボット需要増加 ● 主要顧客の中長期的な増産方針 ● 鋼材価格の変動リスク ● 主要顧客のロボット市場におけるシェア変動可能性
他、考慮すべき 社会トレンド		<ul style="list-style-type: none"> □ サステナビリティに関連する取組の強化（SDGs / ESG） □ 少子高齢化/労働人口減少への対応

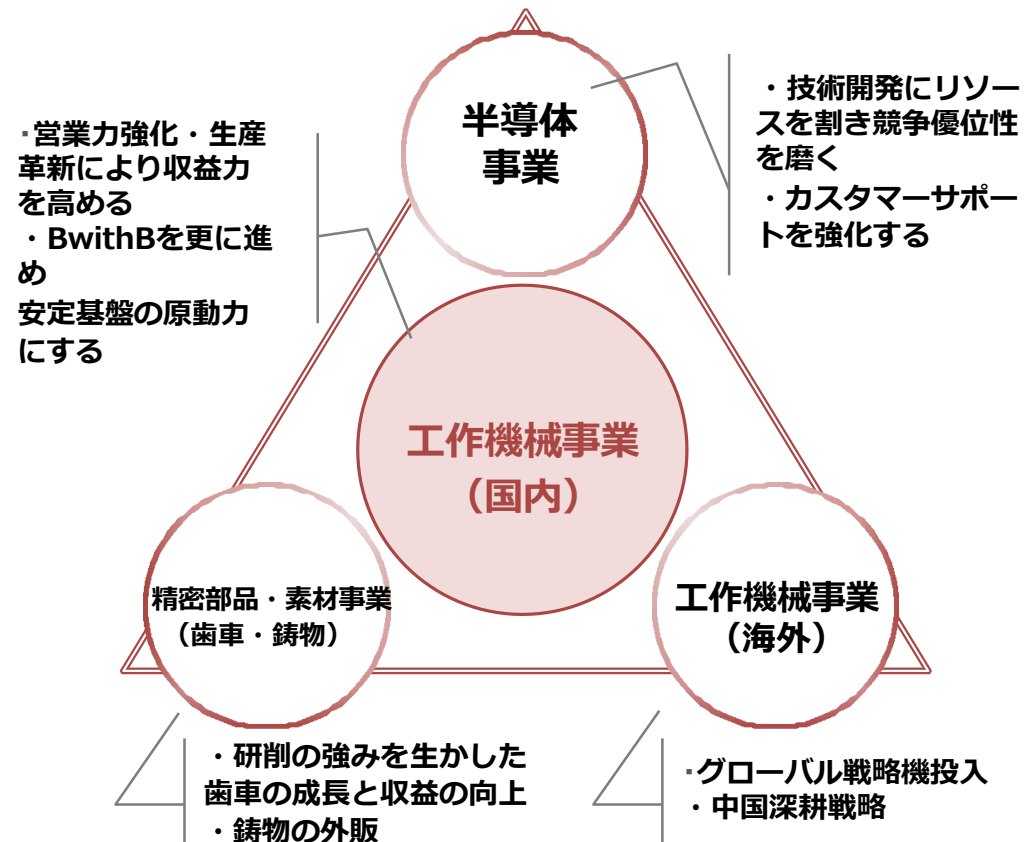
中計ビジョンと全社戦略ハイライト

中計ビジョン

研削で価値を創造する ソリューション企業へ

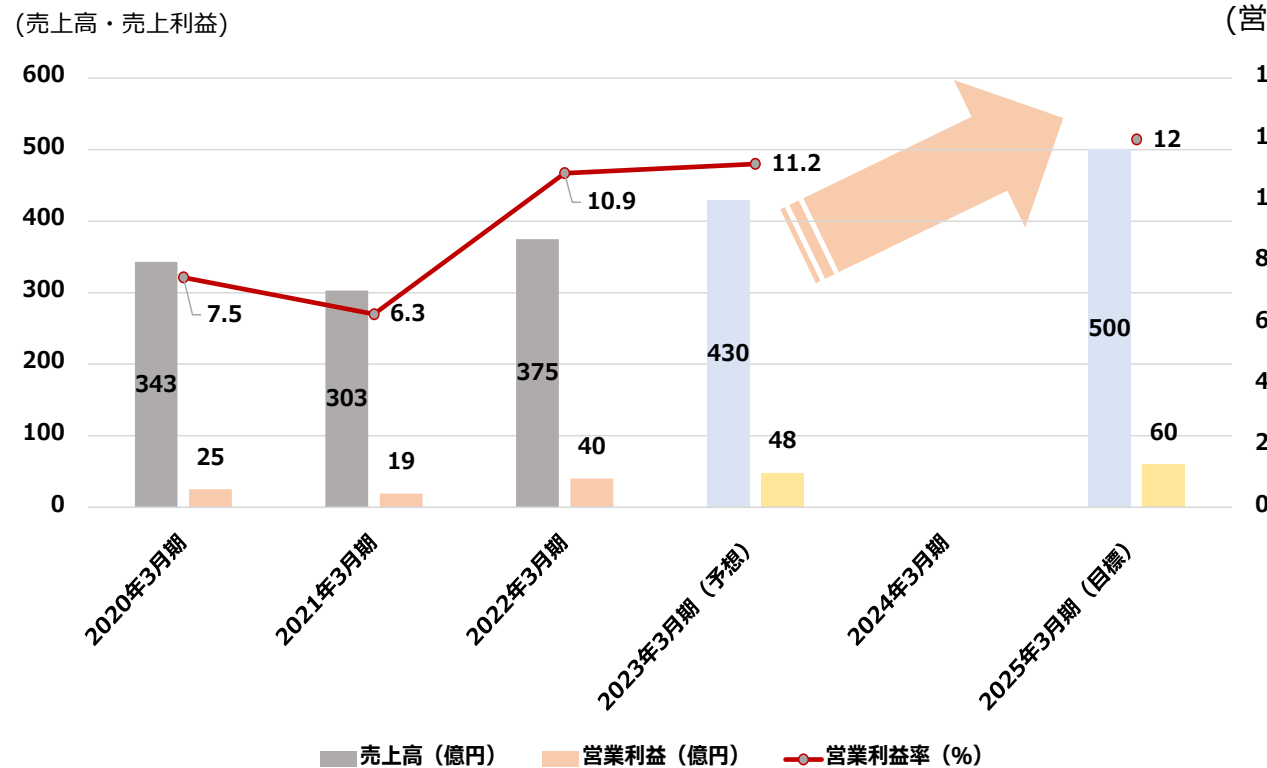
- ▶ 事業ポートフォリオを磨き
研削・研磨の可能性を創造する
- ▶ 研削ソリューション・サービス
等、顧客の価値を創造する
- ▶ サステナブル経営をもって、事業
の持続的体制作りと持続的社会的
実現に寄与する

全社戦略ハイライト



数値目標

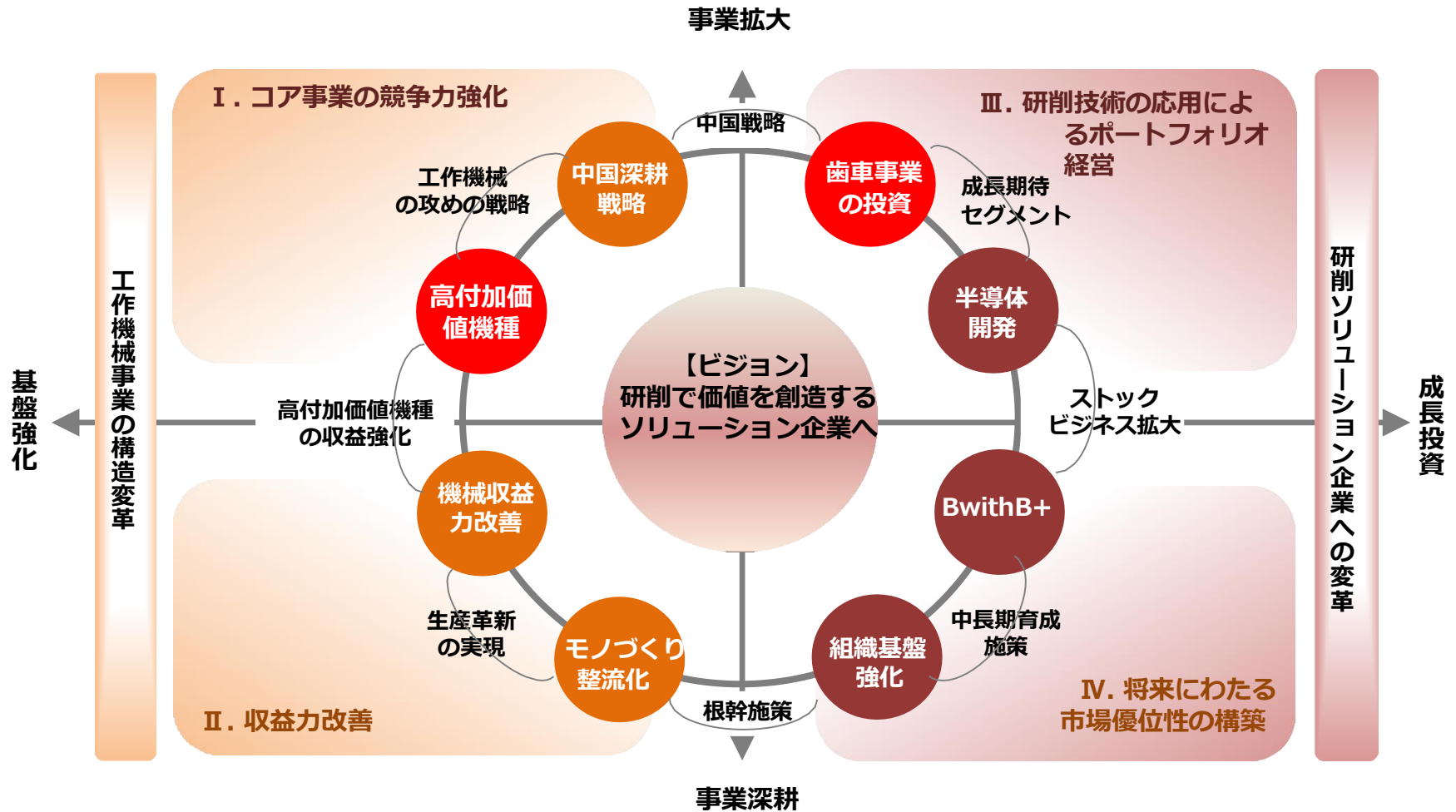
中計最終年度、売上高500億円、営業利益60億円、営業利益率12%を目指す



売上高
375億円 (2022年3月)
↓
500億円 (2025年3月)
CAGR 10.06%

営業利益
40億円 (2022年3月)
↓
60億円 (2025年3月)
CAGR 14.47%

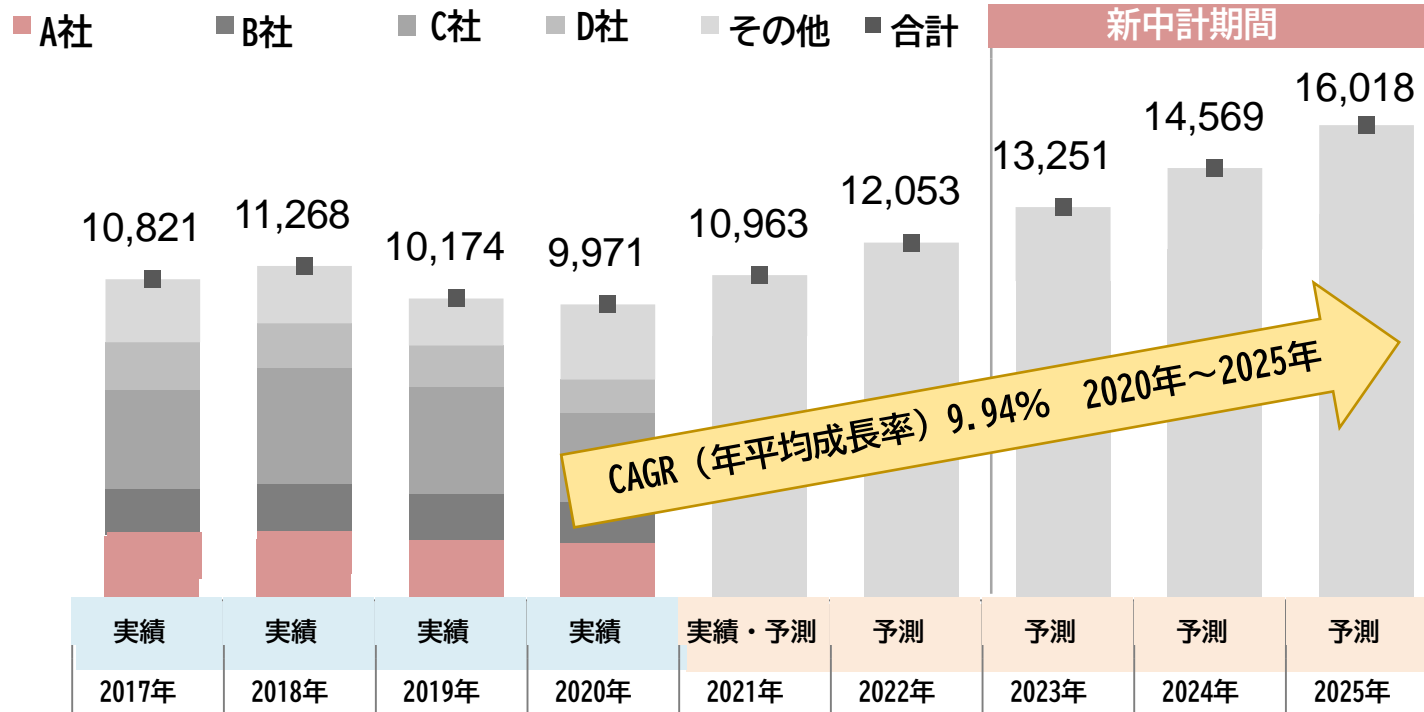
研削で価値を創造するソリューション企業へ 中計重点戦略



歯車事業の投資 歯車マーケット展望

世界の製造業向けロボット市場は、2025年まで年平均成長率+10%での成長を見込む

▼製造業向けロボット世界市場（単位：億円）



- ✓ 製造業向けロボット市場は拡大トレンド
- ✓ 主要ロボットメーカーシェアは変動可能性あり

出所：富士経済「ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望」より

歯車事業の投資 岡本工機と歯車売上高推移

歯車は100%子会社である広島の岡本工機が生産 ロボット需要や静粛性を求められるEV車向け需要の増加など受け、足元受注好調、生産能力の拡大が喫緊の課題



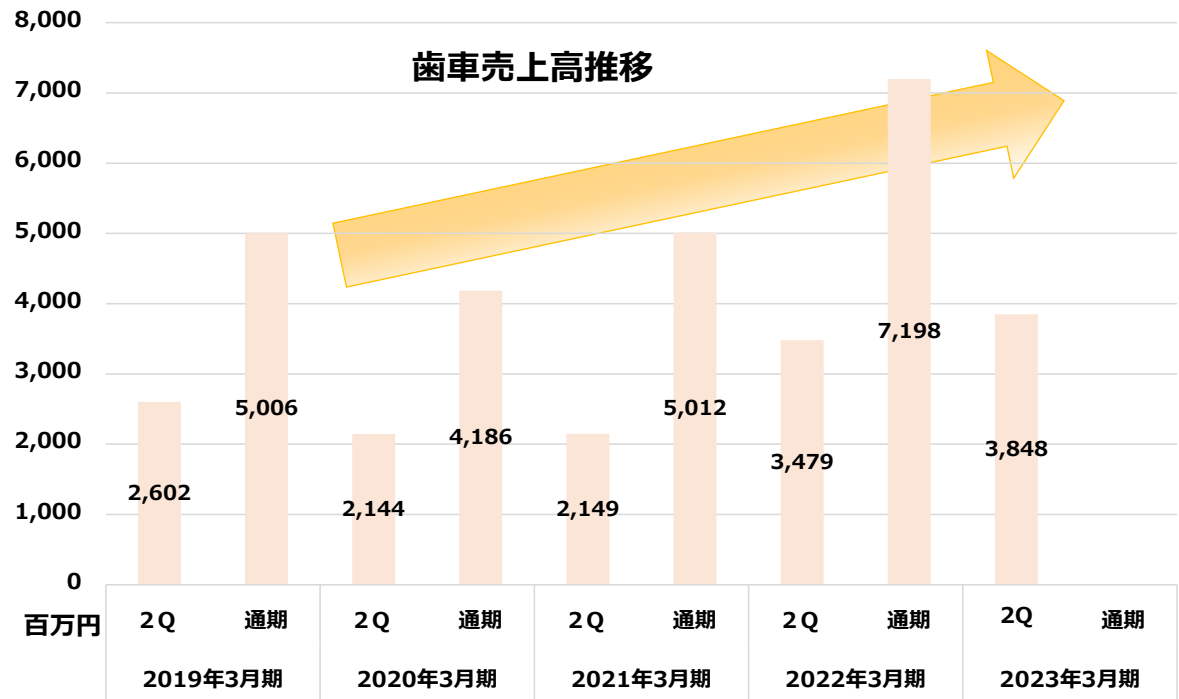
岡本工機株式会社

1975年5月設立

資本金3億2,200万円

広島県福山市金江町金江2050

本社工場、府中工場、尾道工場



本社工場、府中工場は産業用歯車、尾道工場は工作機械を生産

歯車事業の投資 岡本工機「府中第二工場建設」

旺盛な需要に応えるため本社工場、府中工場と機能を分け
府中第二工場建設に着手 生産能力3割向上を目指す



完成予想図

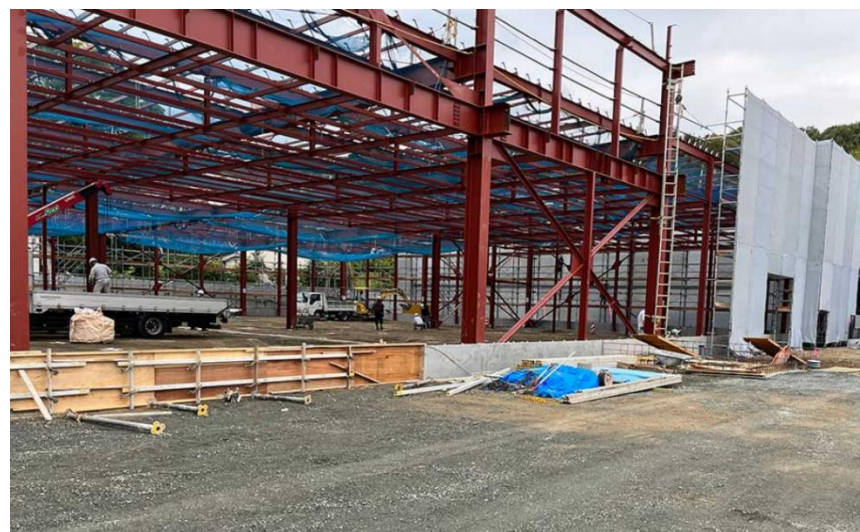
敷地面積 7,223平米

建設面積 4,287平米

2023年2月完成予定

広島県府中市栗柄町

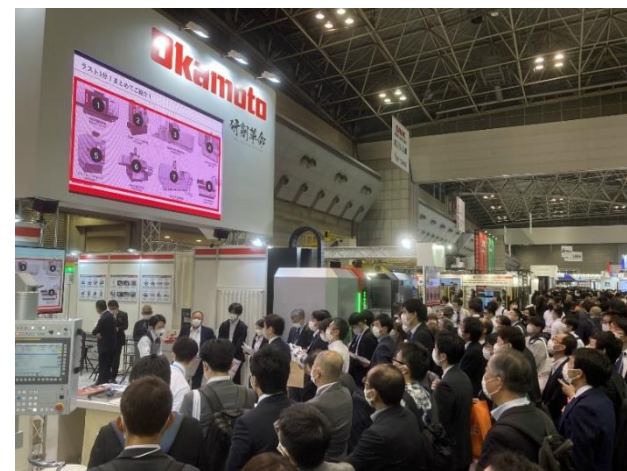
目的：全体の生産規模の3割向上
9本の自動生産ラインを順次設け、回転時の音や振動を抑える独自技術を取り入れた歯車を生産



工事進捗中

高付加価値機種 JIMTOF2022

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに開催されたJIMTOF（日本国際工作機械見本市）に出展
テーマは引き続き「研削革命」を標榜



高付加価値機種 JIMTOF2022 主要展示製品



CNC精密平面研削盤 PSG-CA-iQ



研削条件を自動作成する「iQソフト」で操作が容易
加工前後の寸法計測と補正研削による自動サイクルを実現
加工時間を短縮する『MAP研削システム』も搭載
使用油量を従来機種比50%以上削減

省人化、CO2削減などの需要を見込む



立軸ロータリー平面研削盤 VRG-DX



アルミナ、セラミックス、石英ガラス、炭化ケイ素 (SiC) など
脆性材料の加工に適正

半導体製造装置向け部品加工の需要を見込む

3. 2023年3月期 通期業績予想

2023年3月期の市場環境見通し

半導体需要には減速感あるも工作機械はEV車関連などの投資堅調を予想

<p>工作機械（国内）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり補助金・事業再構築補助金など政府施策もあり工作機械需要は引き続き堅調を予想 半導体業界や工作機械業界など引き続き設備投資増加を予想
<p>工作機械（海外）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北米はセラミックス・航空など好調業種の需要引き続き堅調。EV車用バッテリーに関する投資計画の発表多く今後に期待 欧州はEV車、航空機など設備投資堅調も地政学リスクから不透明感強い 中国もEV車、半導体関連などで設備投資意欲引き続き堅調
<p>半導体</p>	<ul style="list-style-type: none"> メモリ関係の在庫調整などで減速感もあるが、材料となるウエーハ生産の先行投資には計画の修正は見られない パワー半導体デバイスにかかわる投資意欲は旺盛 中国でもウエーハ生産関係の投資意欲はなお旺盛、またパワー半導体デバイスSiC材ウエーハ加工装置など投資計画は継続
<p>精密部品・素材</p>	<ul style="list-style-type: none"> 省人化投資の加速からロボット需要増加、つれてロボット向けギア需要の増加を予想。自動車向けも堅調

通期業績予想

豊富な受注残などを梃子に、売上高430億円、営業利益48億円の達成を見込む
為替については計画の前提と実勢に乖離あるも、影響は相殺

(単位：百万円)

	2022年3月	2023年3月 (予想)	
	金額	金額	増減率
売上高	37,547	43,000	14.5%
売上総利益	11,926	13,284	11.4%
販管費	7,845	8,484	8.1%
営業利益	4,081	4,800	17.6%
経常利益	4,197	4,700	12.0%
当期純利益	2,892	3,200	10.6%

※小数点第2位を四捨五入

(単位：百万円)

	2022年3月	2023年3月 期 (予定)
	金額	金額
設備投資額	1,536	3,247
減価償却費	1,418	1,478
研究開発費	95	131

為替レート	2022年3月期	2023年3月期 (計画)
米ドル	113.04	110.00
シンガポールドル	83.83	82.00
ユーロ	131.11	130.00
タイバーツ	3.45	3.40
人民元	17.65	17.00

※期中の平均レートで記載しております

4. サステナビリティ・SDGs への取り組み

サステナブル経営の推進

「社会の持続可能性」と「当社の持続的成長」を追求する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

現在の取組状況

新中計での取組方針

事業戦略 による貢献

顧客の事業活動を支える工作機械の販売、オーバーホール機販売等、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に向けて貢献している

- 世の中のトレンドを踏まえた製品開発等、事業戦略と紐づいた主体的・積極的な取組を実施

組織戦略 による貢献

- 社員への教育機会の提供
- ガバナンス体制（各種法令の遵守）

- 組織基盤の構築を一層進め、当社自身としての持続可能性を追求（技能伝承、人事制度の再構築、生産管理システムの再構築、等）

（社会の持続可能性／自社の持続可能性）
サステナビリティの実現

サステナビリティ基本方針

岡本工作機械製作所グループは、社是、経営理念、行動規範に基づき、企業活動を通じて持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な企業価値向上を目指します。

- 常に最先端技術を追求し、環境に配慮した製品・サービスを開発、提供していくことで、地球環境を保全する社会の実現に貢献します。
- 多様な人材がそれぞれの能力を最大限に発揮できるよう人事制度や教育研修体制を整備し、自分らしく活躍するための職場環境づくりを推進します。
- 法令を遵守するとともに、健全なガバナンスにより社会から信頼される経営を行い、継続的な企業価値の向上を目指します。

ESG/SDGsへの取り組み

	SDGs目標	課題	岡本工作機械製作所の取り組み
環境	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  9 産業と技術革新の 基盤をつくろう  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に 具体的な対策を	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 製品（お客様工場で）のCO₂排出量削減 ✓ 工場・事業所等のCO₂排出量削減 	<ul style="list-style-type: none"> • CO₂排出量削減に貢献する製品の開発 • お客様の生産性向上（加工時間削減等）に寄与する製品の開発 • オーバーホール・レトロフィット事業推進 • 安中工場のCO₂削減マネジメント活動の推進（省エネ設備、LED照明導入等） • 新独身寮での自然エネルギーの活用 • ISO14001に基づく環境マネジメント
社会	 4 質の高い教育を みんなに  5 ジェンダー平等を 実現しよう  8 働きがいも 経済成長も	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ダイバーシティの推進 ✓ 事業活動領域での雇用促進 ✓ 人材育成と能力開発 ✓ 働きがいのある環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> • 女性活躍の推進 • グループ全体での多国籍社員の採用 • 社員への学習サポート充実 • 働きがいを実感できる人事制度構築
ガバナンス	 16 平和と公正を すべての人に	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営基盤の強化 ✓ 法令遵守 ✓ 安心・安全への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> • コーポレートガバナンス体制の強化 • 国際規格への対応と厳格な輸出管理に基づいた製品の平和利用 • ISO9001に基づく品質マネジメント



Okamoto

Appendix

(ご参考資料)

世界唯一の総合砥粒加工機メーカー



会社概要

会社名 英文	株式会社 岡本工作機械製作所 Okamoto Machine Tool Works, Ltd.
創業	大正15年11月
設立	昭和10年6月
資本金	48億8051万円
本社所在地	〒379-0135 群馬県安中市郷原2993番地
事業内容	<p>【工作機械・半導体関連装置の製造・販売】</p> <p>工作機械事業（平面研削盤・成形研削盤・内面研削盤・円筒研削盤・ 歯車研削盤・専用研削盤・精密歯車・鋳物）</p> <p>半導体関連装置事業（グラインディングマシン・スライディングマシン・ホーリングマシン・ラッピングマシン・ガラス基板研磨装置）</p>
従業員数	連結: 2,129名 単体: 466名 ※2022年9月末現在



事業概要

◎ 工作機械事業

汎用タイプから全自動CNCタイプまで多彩なラインナップを揃え、業界が求める研削・加工を研究・開発

◎ 半導体関連装置事業

各種半導体関連装置で半導体シリコンウェアをより薄く、より平らにする技術でモノ作りを支える

製品ラインナップ

工作機械



半導体関連装置



研削盤のシェア推計

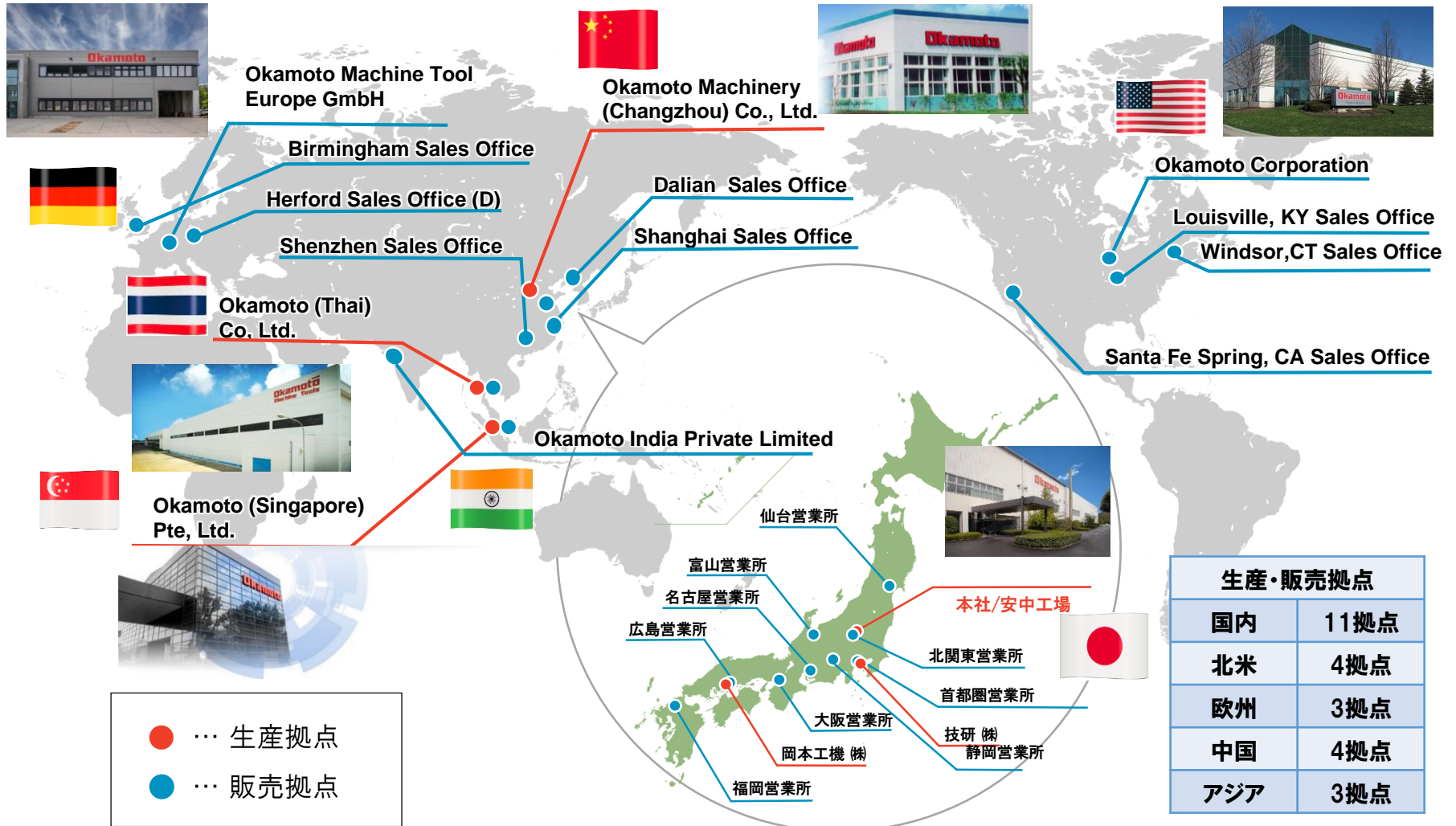
1953年生産開始以来69年

- 出荷台数：総計80,000台以上
- 出荷国数：世界約80カ国
- ユーザー数：世界20,000社以上
- 国内推計シェア：40%(当社推計)

※半導体製造装置は除く



国内拠点、海外拠点



EVカーの部品構成とEVモーター

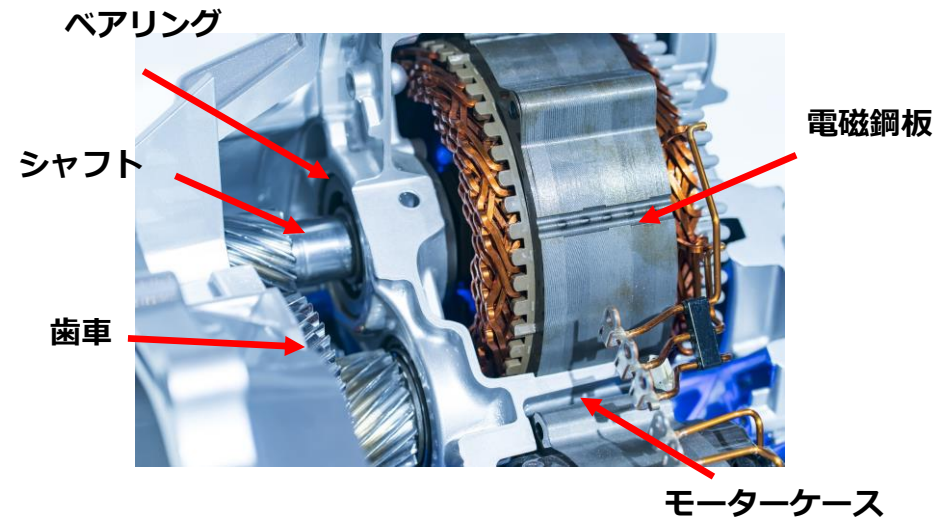
EVカーの部品構成



【新規構成部品】

- ・ EVモーター
- ・ バッテリー
- ・ シャフト
- ・ 歯車
- ・ ベアリング
- ・ 半導体

EVモーター

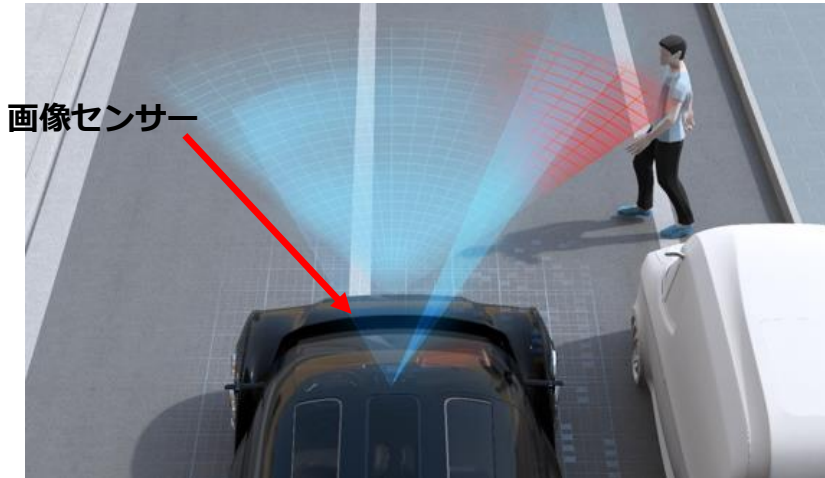


名称：EVモーター
 【研削部品】
 電磁鋼板(モーターコア)
 ベアリング
 歯車
 モーターケース

【対象機種】
 ・ 平面研削盤
 ・ 円筒研削盤
 ・ 内面研削盤
 ・ ロータリー研削盤
 ・ 歯車研削盤

自動運転用車外センサー、自動運転用車内システム

自動運転用車外センサー



名称：自動運転用車外センサー

【対象機種】

- ・平面研削盤
- ・成形研削盤

【研削部品】
電子部品金型

自動運転用車内システム



名称：自動運転用車内システム

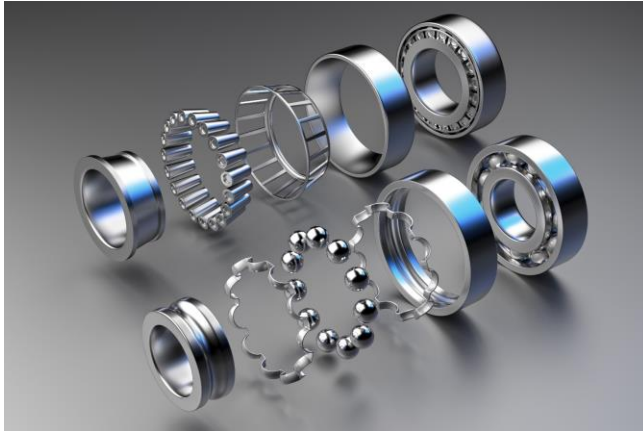
【対象機種】

- ・平面研削盤
- ・成形研削盤
- ・半導体関連製造装置

【研削部品】
電子金型部品
各種半導体

ベアリングの研削、バッテリーの研削

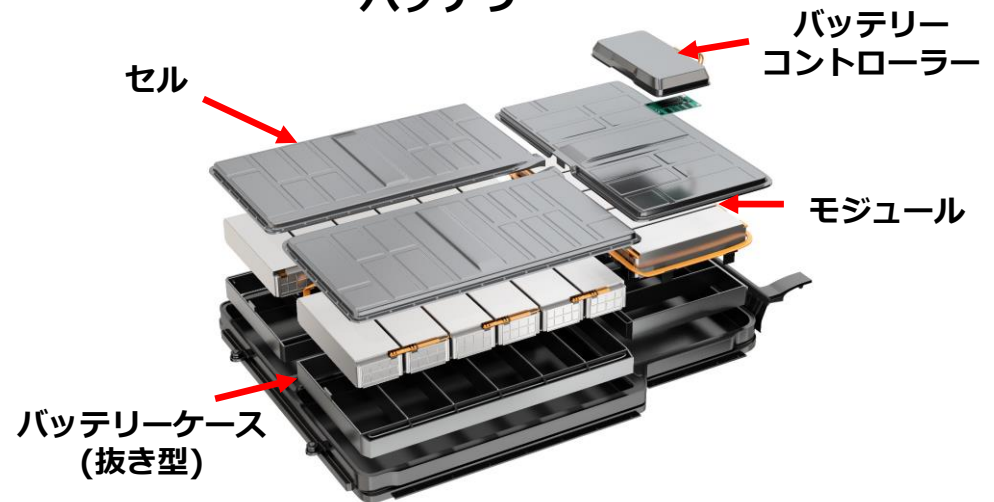
ベアリング



名称：ベアリング
【研削部品】
スペーサー
リング

【対象機種】
・平面研削盤
・円筒研削盤
・内面研削盤
・ロータリー研削盤

バッテリー



名称：バッテリー
【研削部品】
バッテリー用塗工装置部品(Tダイ)
ケース金型
ゴム金型

【対象機種】
・平面研削盤

EV用パワー半導体、組立ライン

EV用パワー半導体



名称：EV用パワー半導体

【研削部品】
ウエーハ

(シリコン・SiC・GaN)

【対象機種】

・半導体関連製造装置

EV用ロボット組立ライン



名称：EV用組立ロボットライン

【研削部品】
歯車
鋳物

【対象機種】

・歯車研削盤
・ロータリー研削盤
・各種当社事業

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 岡本工作機械製作所
総務部
TEL 027(385)5800

【本資料お取扱い上のご注意】

本資料は、株式会社岡本工作機械製作所(以下、当社)をご理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資活動勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。